

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスほっと		
○保護者評価実施期間	令和7年10月23日		～ 令和7年12月12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和7年11月13日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人の中心事業が大人の事業所となるため将来の場所との連携を行い保護者とも意見を交換しながら課題の検討を行っている	今年度は高等部2, 3年生の実習への(見学、報告書の作成)対応、保護者との進路に関する面談などを行った。実習先ともやりとりを行うことで現場と本人並びにご家庭の意向の再確認につなげていく	3年生に関してはほぼ保護者、本人等の意向は確立しつつあったと思えたが新たな情報が入る、事業所の状況が変わる等のこともあり進路の難しさをあらためて感じた。日々の利用者ならびにご家庭のとのやりとりが重要だということが確認できたため重視していく
2	課題など利用者に合わせて用意できるようにしている。	上記にもあるが主に高等部の方を対象としているため「言葉遣い」にも大人に向けてのやり取りを行っている。主に作業課題などを用意しているが高等部の中でも目標は異なるためその個人に合わせた課題などを作成し用意している	保護者の方のお話を伺いながら作業課題が難しい方、社会性に課題がある方などの個々のニーズを把握しながら課題の充実を目指していく
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」というカテゴリーを意識した上で作業課題以外の課題を意識していく	作業課題が多く取り組みとなっているため計画的に個人の方のニーズの合わせて5領域を意識した課題を検討していく	5領域を通して課題の内容を充実していく。様々な方が集中しやすい環境づくり課題づくりを行っていく。集団課題なども可能な方には取り入れていく。様々な方のいる中で特性に応じて環境設定や内用の充実を図っていく
2	送迎等が人員配置上ニーズに満たされていない	今年度利用者の送迎が難しいことをお伝えしたケースがあった。日々の送迎においては利用される方の時間等の希望がある方には対応できるように組んではいるがアンケートより添乗等の希望などが出ていることからすべての方のニーズには対応できていない。	日頃からの関わりを大切にし関係を深めながら連携できることを検討していく。添乗などの希望もあり時間を優先するか安全を優先するか検討していく
3	プライバシーに配慮された環境づくりを検討していく。	同性介助をすすめているがまだ対応が必要と思われる場面が考えられる	プライバシーなどを意識する場面を普段から設定しできる範囲でのやり方を検討していく普段からの対応に関するスタッフの連携を深めていく